

校 園 別 研 究 目 標

「校園別研究目標」は、校種別に各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動などの課題を示したものである。

学習指導に当たっては、幼児・児童・生徒一人一人の実態を的確に把握し、個々の状況に応じた指導・支援を行うために、学習活動、学習形態、評価方法及び教材・教具などを工夫することや、幼児・児童・生徒一人一人が意欲をもって自ら考え、判断し、表現できるような指導方法・指導体制の工夫改善を図り、学び方を身に付け、学ぶ楽しさを実感できる授業の展開に努めることが重要である。

また、小中一貫した教育をはじめとする校種間連携を一層推進するため、全ての教科・領域において、校種間の円滑な接続を図るための研究に努めることが大切である。

◇ 幼 稚 園

(1) 総 合 目 標

自ら環境に働きかけ、力強く、主体的に生きる人間の育成をめざす幼稚園教育を推進するために、人間尊重の立場にたち、幼児の発達の特性に応じ、幼児の生活及び発達や学びの連続性をふまえて、環境を通し、遊びを中心にした総合的な指導により、望ましい人間形成の基礎を培うことについて研究する。更に、一人一人の教育的ニーズを把握し、もてる力を高めるための教育的支援について研究する。

(2) 具 体 的 目 標

ア 健やかで幸福な生活のための基本的な習慣を養い、心身の調和的発達を図るために、健康な心と体を育て、すすんで体を動かし、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を育てる指導のあり方について研究する。

イ 家族や身近な人への信頼感を深め、自主、自律及び協同の精神並びに規範意識の芽生えを養うために、人々と親しみ、支え合う集団生活を通して、自立心をはぐくみ、人とかかわる力を育てる指導のあり方について研究する。

ウ 身近な環境や生命及び自然に対する興味を養い、それらに対する理解と態度及び思考力の芽生えを養うために、周囲の環境や社会生活に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を育てる指導のあり方について研究する。

エ 日常生活の中で言葉への興味や関心を育て、言葉の使い方を正しくみちびくとともに、相手の話を理解しようとする態度を養うために、経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話を聞こうとする意欲を育て、言葉に対する感覚や思考力を豊かにし、伝え合う喜びを感じる指導のあり方について研究する。

オ 多様な体験の中で、豊かな感性と表現力の芽生えを養うために、感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、感性や創造性を豊かにする指導のあり方について研究する。